

2021年度第3回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 国東特別

国東（くにさき）は、大分県の北東部に広がる半島、また同半島東部の市。平安時代から鎌倉時代にかけて多くの社寺が作られ、石仏や板碑などの仏教遺跡が点在している。また、「くにさき銀たち」と呼ばれる太刀魚が多く水揚げされることでも有名。

○ 戸畑特別

戸畑（とばた）は、北九州市にある区。毎年7月に催される「戸畑祇園大山笠」が有名。同行事は国の重要無形民俗文化財に指定されており、福岡県夏の三大祭りのひとつとして「提灯山」の愛称で広く親しまれている。

○ 九州スポーツ杯

九州スポーツは、東京スポーツ新聞社より九州地区を中心に発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 彦島特別

彦島（ひこしま）は、山口県下関市と福岡県北九州市を隔てる関門海峡に浮かぶ本州最南西端部の島。文治元年（1185）の源平最後の合戦（壇ノ浦の戦い）における平家最後の砦としてその滅亡を見届けた島として知られている。そのため現在もなお清盛塚を初めとした平家ゆかりの史跡が多い。かつては「引島」とも呼ばれていた。

○ 西部スポニチ賞

スポニチは、東京と大阪に本社を置くスポーツニッポン新聞社より発行されているスポーツ紙の略称。九州地方では、福岡市に所在するスポーツニッポン西部総局が、同紙を発行している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ サマースプリントシリーズCBC賞（GⅢ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの第2戦。

本競走は、昭和40年に創設された重賞競走。第1回は砂1,800mの競走として実施されたが、幾度かの変更を経て、56年に現行の芝1,200mとなった。その後も短距離競走路線の改善に伴い、実施時期や競走条件が変更され、現在はGⅢのハンデキャップ戦として実施されている。

CBCテレビは、名古屋市中区に本社を置く放送局でTBS系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第3日>

○ マカオジョッキークラブトロフィー

マカオジョッキークラブは、1987年にマカオ政府の許可を得て設立された競馬統括団体。同クラブは、廃止となったマカオトロティングクラブのタイパ競馬場を購入し、1989年からサラブレッドによる競馬を始めた。当初はダートコースのみで実施されていたが、90年には芝コースとナイター用の設備も整い、現在の体制が出来上がった。

○ インディアトロフィー

インドは、アジア南部、インド半島の大部分を占める共和国。首都ニューデリー。同国における競馬は、1777年に英軍将校がアラブ種に騎乗して行われたことが始まりとされており、現在は6つのターフクラブがそれぞれの地域における競馬を統括している。日本との交流は、1968年に種牡馬としてハクチカラ号を寄贈したことに始まり、第1回ジャパンカップには同国からオウンオピニオン号が出走している。

○ マレーシアカップ

マレーシアは、東南アジア、マレー半島南部とボルネオ島北部を占める連邦制の国。首都クアラルンプール。同国では、19世紀後半にシンガポールと一体で競馬が行われるようになった。その後、1864年にペナン、1886年にペラ、1896年にセランゴールの3つのターフクラブが設立された。

<第4日>

○ タイランドカップ

タイは、インドシナ半島中央部を占める立憲王国。首都バンコク。現在、同国における競馬はロイヤル・バンコク・スポーツクラブによって実施されている。

○ フィリピントロフィー

フィリピンは、東南アジア、フィリピン諸島を占める共和国。首都マニラ。同国における競馬は、1867年にマニラ・ジョッキークラブが結成されたことに始まる。1900年、同クラブはマニラにサンラザロ競馬場を建設。また、1937年には現在のフィリピン・レーシングクラブが結成され、サンタアナパーク競馬場を設立した。現在は、いずれの競馬開催も政府から分離独立したフィリピン・レーシング・コミッションにより統括されている。

○ プロキオンステークス（GⅢ）

本競走は、平成8年に創設された重賞競走。当初は4月中旬に実施されていたが、12年より6月中旬、18年より7月上旬に移設され、現在に至っている。本年は小倉競馬場において1,700mで実施される。

プロキオン（Procyon）は、こいぬ座のアルファ星で、シリウス、ベテルギウスとともに「冬の大三角」を形作る恒星。

○ シンガポールターフクラブ賞

シンガポール・ターフクラブは、1842年に設立された競馬統括団体。1933年にブキティマに競馬場を開場した後、99年に克蘭ジに移転し現在に至っている。国際競走として実施されていた『インターナショナルカップ』及び『インターナショナルスプリント』は2015年に廃止されたが、18年より『克蘭ジマイル』が国際招待競走として実施されている。

<第5日>

○ 雲仙特別

雲仙（うんぜん）は、長崎県島原半島西部の市。平成17年に周辺7町が対等合併し、雲仙市となった。また、同半島の中央部にある火山群の総称であり、特別名勝に指定されている。雲仙天草国立公園は火山景観を主体とした雲仙地域と、大小120余の島々の海洋景観を主体とした天草地域が指定されている。

○ 岩国特別

岩国（いわくに）は、山口県最東部の市。瀬戸内海に面しており、パルプ・紡績・石油化学工業等が立地する工業地帯である一方、北西部は山地の自然に富んでおり、周南市に源流を發して市内を横断する錦川は清流を誇っている。また、岩国藩の城下町としての名残があり、その中でも錦川をまたぐ錦帯橋は有名な建築物である。

○ 不知火ステークス

不知火（しらぬい）は、夜間の海上に多くの光が点在し、ゆらめいて見える現象。干潟の冷えた水面と大気との間にできる温度差によって、漁火が無数の影像をつくる異常屈折現象とする説が有力。八代海や有明海は、不知火の名所として知られる。

<第6日>

○ 高千穂特別

高千穂（たかちほ）は、高千穂峰（たかちほのみね）のこと。高千穂峰は、宮崎県と鹿児島県の境、霧島火山群南部にある円錐状火山。標高 1,574m。天孫降臨伝説の地で、山頂には天逆鉾（あまのさかほこ）がある。大正 2 年（1913）には西方の寄生火山・御鉢が噴火した。ミヤマキリシマ・マイヅルソウなどが自生し、山麓には多くの温泉がある。霧島錦江湾国立公園に属する。

○ 西部日刊スポーツ杯

日刊スポーツは、日刊スポーツ新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同紙の九州版を発行している、日刊スポーツ新聞西日本西部本社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ サマーマイルシリーズトヨタ賞中京記念（GⅢ）

全 4 戦で実施されるサマーマイルシリーズの第 2 戦。

本競走は、昭和 28 年に行われた『中京開設記念』を翌年に改称して創設された重賞競走。本年は小倉競馬場において 1,800m で実施される。

トヨタ自動車株式会社は、愛知県豊田市に本社を置く自動車メーカー。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。